

駿河湾深層水の利用効果の解明と新しい利用技術の開発

(予算区分 県単独 研究期間 平成21～23年度)

担当：開発加工科 羽田好孝・二村和視

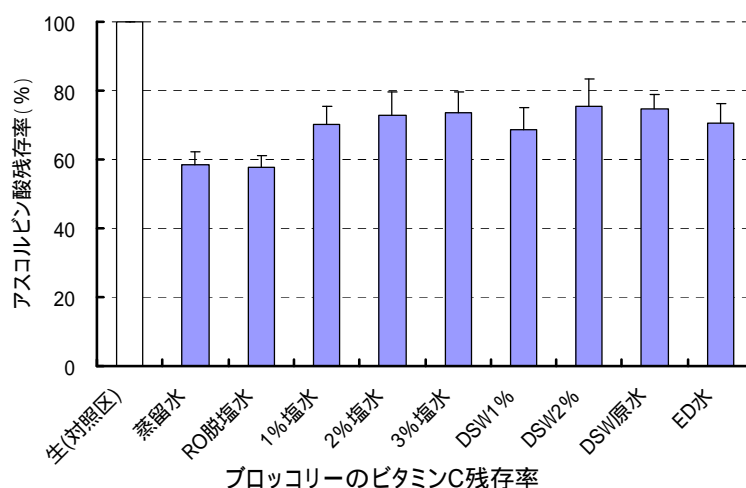
【研究の背景とねらい】

駿河湾深層水は、取水した原水のほか、4種類の処理水が供給されていますが、利用率が低くなっており、利活用を促進するため新たな利用法の開発が必要となっています。そこで、一般消費者にわかりやすい調理等における深層水の利用効果を解明するとともに、高ミネラル特性に着目した新たな利用法を開発することにより、駿河湾深層水の利活用促進を図ります。

【これまでに得られた成果】

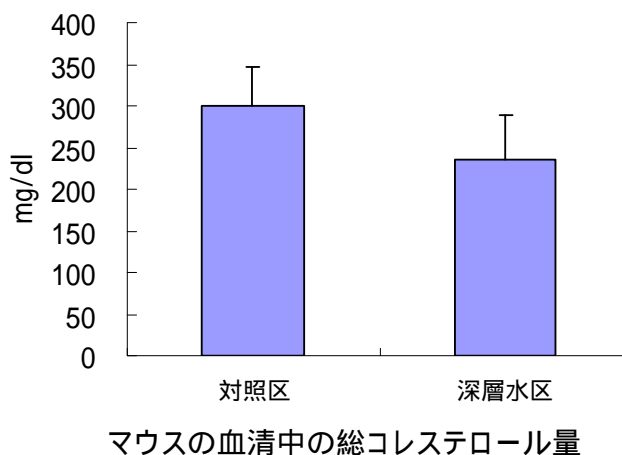
(平成21年度の成果)

- ・ 深層水及び電気透析水(ED水)を野菜のゆで水に使用した結果、ビタミンCの損失が少なく、栄養成分の減少を抑える効果がみられました。
- ・ 血清中の総コレステロールの値が高いマウスの飲み水に、硬度1200のED水を与えて飼育した結果、総コレステロール濃度が減少し、健康改善効果がみられました。



【期待される成果】

- ・ 深層水及びED水の調理における栄養成分の損失抑制効果や品質の向上効果、ED水の健康機能性効果は一般消費者にも分かりやすく、駿河湾深層水が身近に感じられるようになり、深層水及びその処理水の利用促進が図られます。



【今後の計画】

- ・ 魚介類を対象とした調理等における利用効果を検討します。
- ・ マウスを用いたモデル試験により脂質代謝をより詳細に調べます。
- ・ 深層水及び処理水の抗酸化作用について調べます。

(作成 平成22年4月)